



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東
 コード番号 3923 URL <https://www.rakus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 戦略企画部長 (氏名) 松嶋 祥文 TEL 050 (8880) 3200
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,165	33.7	286	△44.9	293	△44.2	182	△47.1
2022年3月期第1四半期	4,613	33.3	519	△42.9	526	△42.5	346	△43.8

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 204百万円 (△41.0%) 2022年3月期第1四半期 346百万円 (△43.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	1.01	—
2022年3月期第1四半期	1.91	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	11,691	8,477	72.5
2022年3月期	11,700	8,617	73.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 8,477百万円 2022年3月期 8,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	1.90	1.90
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	1.95	1.95

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,773	34.8	492	△44.6	492	△45.3	298	△49.3	1.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2023年3月期の連結業績予想については、第2四半期（累計）の業績予想のみを開示しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、通期業績予想につきましては、第2四半期決算発表時に開示を行う予定をしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	181,216,000株	2022年3月期	181,216,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,566株	2022年3月期	1,494株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	181,214,462株	2022年3月期1Q	181,214,510株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が所属する情報通信サービス市場においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による働き方の見直しや、人手不足による業務効率化の推進に伴い、企業業務のデジタル化への移行に関心が高まっております。

このような経営環境の中、当社グループは、2021年3月期を基準として、2026年3月期までの5ヵ年で売上高をCAGR（年平均成長率）26%から30%、2026年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益100億円以上、純資産200億円以上とする中期経営目標に取り組んでおります。この中で、特に重視している売上高目標の上限であるCAGR30%の達成に向けて、当初4年間は半期ごとに施策や予算を策定することで、外部環境への対応や施策の効果検証を迅速に行いながら、成長投資の強化に取り組むことを計画しております。

当第1四半期連結累計期間において、クラウド事業は前事業年度からの主力サービスに対する成長投資が新規受注の増加につながっており、高い売上高成長率を実現しました。IT人材事業については、ITエンジニアへの旺盛な顧客ニーズに対して大幅に増員するとともに、アサインが順調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高6,165百万円（前年同期比33.7%増）、営業利益286百万円（前年同期比44.9%減）、経常利益293百万円（前年同期比44.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は182百万円（前年同期比47.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①クラウド事業

クラウド事業は、「楽楽精算」「楽楽明細」「楽楽販売」の新規受注が好調に推移した結果、売上高は5,011百万円（前年同期比35.1%増）となりました。利益面では、中期経営目標の方針通り積極的な成長投資を継続したことから、セグメント利益は161百万円（前年同期比61.7%減）となりました。

②IT人材事業

IT人材事業は、旺盛な顧客ニーズを背景に、積極的な採用を継続したことで大幅な増員を実現し、稼働エンジニア数も順調に増加した結果、売上高は1,154百万円（前年同期比27.8%増）、セグメント利益は124百万円（前年同期比24.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は8,483百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が314百万円減少したものの、売掛金が161百万円、前払費用（流動資産「その他」）が105百万円、未収入金（流動資産「その他」）が74百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は3,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円減少いたしました。主な要因は、差入保証金が66百万円、建物及び構築物が35百万円それぞれ増加したものの、繰延税金資産が85百万円、のれんが40百万円、工具、器具及び備品が30百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は11,691百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。主な要因は、未払費用が674百万円減少したものの、賞与引当金が375百万円、預り金（流動負債「その他」）が182百万円、未払消費税等が141百万円、未払金が69百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定負債は160百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。これは主に、長期未払費用が55百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,213百万円となり、前連結会計年度末に比べ130百万円増加いたしました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円減少いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により182百万円増加したものの、利益剰余金が剰余金の配当により344百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は2021年3月期を基準として2026年3月期までの5ヵ年で売上高をCAGR26%から30%、2026年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益100億円以上、純資産200億円以上とする中期経営目標を掲げております。この中で、特に重視している売上高目標の上限であるCAGR30%の達成に向けて、当初4年間は半期ごとに施策や予算を策定することで、外部環境への対応や施策の効果検証をしつつ、最速での成長を目指して投資の強化に取り組むことを計画しております。最終年度においては、投資の効率化に取り組むことで、利益目標の達成を実現する方針です。

なお、本中期経営目標期間において、2023年3月期が営業利益額で底になる見通しであり、2024年3月期以降は最終年度に向けて増益になる見込みです。

中期経営目標の初年度である2022年3月期において、引き続き旺盛なデジタル化ニーズを捉え、高成長を実現するために更なる投資の強化を計画しており、2023年3月期第2四半期は、売上高12,773百万円（前年同期比34.8%増）、営業利益492百万円（前年同期比44.6%減）、経常利益492百万円（前年同期比45.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益298百万円（前年同期比49.3%減）を計画しております。

そのような中、採用については、高成長のための積極的な増員計画に対して若干の遅れが出ているため、計画していた費用の一部をマーケティング施策に振り向けます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,861	4,547
売掛金	3,104	3,265
未収還付法人税等	131	143
その他	333	537
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	8,419	8,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	175	211
工具、器具及び備品(純額)	710	679
有形固定資産合計	886	891
無形固定資産		
のれん	627	586
顧客関連資産	61	42
ソフトウェア	34	33
無形固定資産合計	723	663
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
関係会社株式	52	52
関係会社長期貸付金	36	35
差入保証金	888	955
繰延税金資産	685	599
その他	12	14
貸倒引当金	△4	△5
投資その他の資産合計	1,671	1,653
固定資産合計	3,281	3,207
資産合計	11,700	11,691

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1	0
短期借入金	—	20
1年内返済予定の長期借入金	4	4
未払金	1,285	1,355
未払費用	754	79
未払法人税等	116	51
未払消費税等	198	340
契約負債	549	576
賞与引当金	—	375
その他	67	249
流動負債合計	2,977	3,053
固定負債		
長期借入金	36	35
長期未払費用	69	124
固定負債合計	106	160
負債合計	3,083	3,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	378	378
資本剰余金	308	308
利益剰余金	7,918	7,757
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,604	8,442
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	2	12
為替換算調整勘定	10	22
その他の包括利益累計額合計	13	34
純資産合計	8,617	8,477
負債純資産合計	11,700	11,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,613	6,165
売上原価	1,441	1,967
売上総利益	3,171	4,198
販売費及び一般管理費	2,652	3,912
営業利益	519	286
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	5
受取補償金	0	0
助成金収入	6	0
その他	0	0
営業外収益合計	7	7
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	526	293
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	526	293
法人税、住民税及び事業税	89	29
法人税等調整額	90	81
法人税等合計	180	110
四半期純利益	346	182
親会社株主に帰属する四半期純利益	346	182

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	346	182
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△0	9
為替換算調整勘定	0	11
その他の包括利益合計	0	21
四半期包括利益	346	204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346	204

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(賞与引当金)

前連結会計年度においては、従業員賞与の確定額を未払費用として計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間は支給額が確定していないため、支給見込額を賞与引当金として計上しております。なお、前連結会計年度においては支給確定額644百万円を未払費用に含めて計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,709	903	4,613	—	4,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	14	14	△14	—
計	3,709	917	4,627	△14	4,613
セグメント利益	422	99	521	△2	519

(注) 1. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. セグメント利益の調整額△2百万円は、配賦不能営業費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,011	1,154	6,165	—	6,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	12	12	△12	—
計	5,011	1,167	6,178	△12	6,165
セグメント利益	161	124	285	0	286

(注) 1. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、配賦不能営業費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。